

<様式1>

令和3年度 さいたま市立北浦和小学校 自己評価書

校長 三村 悟



1 学校で設定した「令和3年度の目標」及び関係する「評価項目」について

本校は今年度で開校75年目を迎える。これまでに保護者、地域の方々に支えられ、教育活動を展開してきた。

学校教育目標「進んで学び 高め合う 北小の子」の具現化に向け、自分の想いや考えを伝え、学び合う力を伸ばすために各教科で主体的・対話的な学びを各教科で重視しながら学習を進めている。そこで、以下の教育活動等の工夫改善を行おうとした評価項目を設定し、全教職員で取り組んできた。

(1) 確かな学力と論理的思考力の育成

－教育課程の編成・実施状況、各教科等の授業の状況－

(2) 豊かな人間性とリーダーシップの育成－児童生徒の状況－

(3) 健やかな体と夢に向かって努力する心の育成－安全教育の状況、保健管理の状況－

(4) 心に潤いをもらせる教育環境の整備と充実－いじめ防止等の状況－

(5) 家庭・地域との連携と働き方改革の推進

－学校と保護者、地域住民との連携の状況、学校における働き方改革の状況－

2 評価結果について

昨年度新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止あるいは規模を縮小した学校行事について、保護者、教職員からの学校評価による意見と「学校における新しい生活様式」に基づいて見直しを図り、特色ある学校づくりを進めてきた。

- ・教育課程の編成・実施状況に関し、教育活動における質問項目では、おおむね満足、十分満足という教職員が90%以上であった。その反面、新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る臨時休業のため、学校課題研修が計画通りに進まないこともあり、研修の成果を普段の授業に生かすことがあまりできなかったという意見もあった。
- ・いじめ防止等の状況に関する質問項目では、北浦和小のやくそくのもと、生徒指導にあたることができたという教職員が90%以上であった。また、生徒指導上の問題が起きた際には管理職や生徒指導主任、学年主任に相談し、報告・連絡・相談の連絡体制が構築できており、十分満足と回答した教職員が48%と高い。
- ・地域住民との連携の状況に関する質問項目では、おおむね満足、十分満足という教職員が90%以上であった。本校は、コミュニティスクール準備校として、年3回学校運営協議会準備委員会を開催した。その中で地域・保護者の願いを叶えるため、熟議を重ねてきた。今後も家庭・地域とより一層連携し、地域とともにある学校づくりを推進していく。
- ・学校における働き方改革の状況に関する項目では、おおむね満足、十分満足と答えた教職員は77%であった。その反面まだまだ改善に取り組めるとの声が22%あった。

3 次年度に向けた具体的な改善策について

- ・学校評価や「学校における新しい生活様式」に基づいて学校行事の実施する方法や時期を見直しつつ、特色ある学校づくりを進めていく。
- ・子どもと向き合う時間を確保するために、会議日程の工夫、日課表の工夫、学校行事の見直しを行い学校における働き方改革を進めていく。
- ・職員会議や職員集会の目安時間を設定したり ICT を活用した日報にしたりすることで時間を短くしていく。その時間を学校課題研修に充てるなどして教職員の指導力向上につなげていく。

※ A4判1枚程度に簡潔にまとめる。教育委員会に写しを提出する。